

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学 事	-----	
平成20年度医学博士授与者（前期）	2
○ 人 事	-----	
新任教授・新任准教授・新任講師	2
新任あいさつ	2
・医学部 脳神経外科学講座 教授 齋藤 清		
・医学部 整形外科学講座 教授 紺野慎一		
・トランスレーショナルリサーチセンター 臨床ゲノム学講座 教授 渡邊慎哉		
○ 諸 規 程 改 正	-----	
平成20年6月から平成21年1月までの諸規程の制定改廃関係	3
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	-----	
役員会	5
経営審議会	5
教育研究審議会	5
医学部教授会	5
看護学部教授会	5
○ 雑 報	-----	
倫理委員会	6
医学部定員増の実施について	9
福島県立医科大学ビジョン2008	9
福島県立医科大学のシンボルマーク及びロゴタイプ	10
中国武漢大学との学術交流基本協定の締結について	10
寄附講座の開設について	10
学生の部活動報告（混声合唱団）	11
平成20年度科学研究費補助金採択状況	12
平成20年度厚生労働科学研究費補助金採択状況	14

学 事

■ 平成20年度医学博士授与者（前期）

〔平成20年 9月授与〕

氏 名	学 位	論 文 名
加藤 菜穂	マウスの緊縛性ショックにおける IL-6 及び iNOS の関与	
畑下 智	Contralateral Neuropathic Pain and Neuropathology in Dorsal Root Ganglion and Spinal Cord following Hemilateral Nerve Injury in Rats (ラット片側脊髄神経損傷後に引き起こされる反対側の神経因性疼痛、および反対側後根神経節、脊髄における神経病理学的変化の検討)	
星野 実加	BRM cocktail treatment using PSK and OK-432 significantly up-regulates the migration activity in human dendritic cells without losing the effective CTL induction (PKS と OK432を併用した BRM カクテルは樹状細胞に対し効果的な CTL 誘導能を失わせることなく遊走能を向上する)	

人 事

(平成21年 2月1日現在)

◎新任教授

発令 20.11.1	医学部整形外科学講座	教授	紺野 慎一
採用 20.12.15	トランスレーショナルリサーチセンター	教授	渡邊 慎哉
採用 21.1.1	医学部脳神経外科学講座	教授	齋藤 清

◎新任准教授

採用 20.12.1	附属病院臨床腫瘍センター	准教授	原 孝光
採用 20.12.15	トランスレーショナルリサーチセンター	准教授	今井 順一
昇任 21.1.1	附属病院総合周産期母子医療センター	准教授	大川 敏昭
昇任 21.2.1	医学部細胞統合生理学講座	准教授	勝田新一郎
昇任 21.2.1	医学部神経内科学講座	准教授	杉浦 嘉泰

◎新任講師

採用 20.7.1	医学部皮膚科学講座	講師	尾山 徳孝
昇任 20.7.1	医学部内科学第一講座	講師	小川 一英
昇任 20.7.1	医学部泌尿器科学講座	講師	宍戸 啓一
昇任 20.9.1	医学部病理学第一講座	講師	橋本 優子
昇任 20.10.1	医学部小児科学講座	講師	橋本 浩一
昇任 20.11.1	医学部耳鼻咽喉科学講座	講師	多田 靖宏
昇任 21.2.1	医学部神経内科学講座	講師	榎本 博之

■ 新任あいさつ



教授就任ごあいさつ

医学部 脳神経外科学講座
教授 齋藤 清

本年1月1日付けで脳神経外科学講座教授を拝命致しました。私の専門は脳神経外科の中でも脳腫瘍や頭蓋底病変など治療困難な疾患に対する外科手術を中心とした治療です。脳神経外科手術も日々進歩しており、以前は手術が困難であった病変に対しても手術が可能となっています。また画像技術、モニタリングやナビゲーションなど手術支援の進歩により、手術の安全性と確実性は向上しています。さらに、血管内治療、内視鏡手術、キーホール（鍵穴）手術などの低侵襲手術も一般的となり、患者様の負担も軽減しています。これらの新しい技術を取り入れ、医局員と協力して脳血管障害や外傷など脳神経外科疾患全般に対して積極的に取り組み、脳神経外科学および本学の発展と地域医療に貢献できますように全力を尽くしたいと思います。

脳神経外科医師は全国的に不足しています。そのため勤務医の負担が増え、忙しいために研究医に好まれず、キャリア途中で脳外科を離れる医師も増えてきました。たしかに脳外科は大変ですが、その分魅力に溢れています。この魅力を学生や研修医など若手の先生にアピールし、新しい分野をお互いに勉強していけるよう環境を整備して医師不足の問題を乗り越えたいと願っています。脳神経外科医療には関連各科の皆様のご協力が不可欠です。引き続きご支援をお願い致します。また治療の難しい患者様がございましたらご紹介ください。今後ともご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



教授就任ごあいさつ

医学部 整形外科学講座
教授 紺野 慎一

平成20年11月1日から第6代目の福島県立医科大学医学部整形外科の教授に就任させていただきました。私は、昭和59年に自治医科大学を卒業し、9年間の義務年限を終了した後、スウェーデンのヨーテボリ大学で1年間、海外留学をさせていただきました。帰国後、腰部脊柱管狭窄と腰椎椎間板ヘルニアの実験モデルを開発し、プロスタグランジン E1 が治療薬として有効であることを証明しました。平成14年には腰痛に特異的な評価尺度である日本語版 Roland Morris Disability Questionnaire (RDQ) を開発しました。平成15年には、腰部脊柱管狭窄の診断サポートツールを開発しました。腰部脊柱管狭窄の診断サポートツールは世界的に評価され、今や各国で使用されつつあります。平成8年から脊椎内視鏡手術に着手し、脊髄砂時計腫や脊椎破裂骨折への適応に成功しました。対外的には脊椎内視鏡の手術手技を日本全国に普及すべく、平成10年から毎年2回、脊椎外科医を対象に脊椎内視鏡手術手技講習会で講師を務めており、平成12年には日本脊椎内視鏡研究会会長に就任しました。

今後は、今まで以上に解剖、生理、疫学等の最先端の基礎的研究グループとの連携を密にして、共同研究を推進したいと考えています。患者さんのQOLを重視した科学とアートの融合による診療が目標です。単に整形外科の視点のみではなく、多面的に患者さんを評価できる医師の育成を目指したいと考えています。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



教授就任ごあいさつ

トランスレーショナルリサーチセンター
臨床ゲノム学講座
教授 渡邊 慎哉

平成20年12月15日付けで、福島県立医科大学初の寄附講座としてトランスレーショナルリサーチセンターに開設された臨床ゲノム学講座に着任いたしました。

本講座は、経済産業省／新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が平成19年度から開始した国家プロジェクト「基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発／橋渡し促進技術開発」(創薬技術分野)の一環である「遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速」プロジェクト (以下がん TR プロジェクトと

略) を最大限有効に遂行するためにプロジェクト参画企業を中心に寄せられた寄附を基に設置されました。

このがん TR プロジェクトは、社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム (JBIC) と福島県立医科大学の共同提案により採択され、製薬を中心とする7つの企業と産業技術総合研究所・東京大学・早稲田大学を研究開発拠点とし、福島県立医科大学を臨床拠点として、両拠点間の橋渡し研究を行っています。

具体的には、プロジェクト参画製薬企業が現在開発中の抗がん剤の感受性 (効く・効かない) を鑑別できる遺伝子発現データセットの開発と臨床サンプル (手術等で摘出したがん組織) による検証、並びに、臨床サンプルの遺伝子発現情報と臨床情報の解析を基とした新規抗がん剤ターゲットの同定と企業での早期開発へ向けたターゲットの導出を目標に、研究開発を進めています。

臨床拠点としての福島県立医科大学は、主として附属病院と関連病院でのがん組織の収集とサンプル調製、および、臨床情報の体系的集積を担当します。本講座は、遺伝子発現解析を担当いたします。現在、外科学講座・解剖組織学講座を中心に全学一丸となった取り組みが動き始めております。

将来的には、このがん TR プロジェクトで集積される遺伝子発現情報と臨床情報のデータベースを有する福島医大をハブとして県内の医療機関を結ぶ「福島モデルがん個別医療」を世界に類を見ないオリジナルなものとして実現すべく、縁の下の力持ちとして努力する所存でございます。

諸規程改正

■ 平成20年6月から平成21年1月までの諸規程の制定改廃関係

- 「公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則」の一部改正 (平成20年4月1日制定・施行)
「公立大学法人福島県立医科大学職員の育児休業等に関する規程」の一部改正 (平成20年4月1日制定・施行)
「公立大学法人福島県立医科大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程」の一部改正 (平成20年4月1日制定・施行)
育児短時間勤務制度及び自己啓発休業制度を導入するため、所要の改正を行いました。
- 「福島県立医科大学附属病院教授選考規程」の一部改正 (平成20年6月1日制定・施行)
組織改編に伴う文言の修正を行うほか、附属病院教授称号付与者の選考範囲を各診療科等の部長等の職にある准教授又は講師のほか、理事長が特に必要と認める職にある准教授又は講師とする旨の改正を行いました。

3 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正（平成20年 6月30日制定・7月 1日施行）

女性専門外来が性差医療センターとして組織化され、医師面談によるカウンセリングを実施することから、当該カウンセリングに係る料金を設定するとともに、先進医療に係る医療技術のうち保険診療とされた「実物大臓器立体モデルによる手術計画」、「顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術」の先進医療に係る料金の削除を行いました。

4 「福島県立医科大学看護学部履修規程」の一部改正（平成20年 7月25日制定・平成21年 4月 1日施行）

保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正による看護学部授業科目のカリキュラム改正に伴い、履修規程の一部改正を行いました。

5 「福島県立医科大学東北がんプロフェッショナル養成プラン運営委員会規程」の制定（平成20年 9月 1日制定・施行）

東北大学、山形大学との共同事業である「東北がんプロフェッショナル養成プラン」の円滑な推進を図る学内組織（運営委員会）を設置するための規定を制定しました。

6 「公立大学法人福島県立医科大学任期付教員就業規則」の一部改正（平成20年 9月 1日制定・施行）

選考委員会委員の役割や委員会での議事決定方法の規定を追加する改正を行いました。

7 「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正（平成20年10月 1日制定・施行）

本学に寄附講座の設置が認められたことから、組織及び運営規程の中に寄附講座に係る条文を追加しました。

8 「公立大学法人福島県立医科大学寄附講座に関する規程」の制定（平成20年10月 1日制定・施行）

本学に寄附講座の設置が認められたことから、寄附講座の目的、定義、設置及び運営に関する規定を定めました。

9 「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正（平成20年10月17日制定・平成21年 4月 1日施行）

医学研究科の4専攻を1専攻に再編するとともに、インターネット等を利用した遠隔教育を行う場合の授業方法等を規定しました。

また、修士及び博士の学位授与の要件である各課程の「修了要件」及び「学位の授与」について、大学院設置基準及び学位規則の各省令にならった規定の整備を行いました。

10 「福島県立医科大学学則」の一部改正（平成20年11月 5日制定・改正）

平成21年度以降の入学定員を今年度より5名増の100名とする増員計画が文部科学省から承認されたことから、入学定員増のための学則の改正を行いました。

11 「公立大学法人福島県立医科大学ハラスメント防止規程」の一部改正（平成20年11月17日制定・施行）

ハラスメントの定義の追加・修正を行うとともに、対策委員会への外部委員の参画や役職員・学生等に対する研修等の実施義務を取り入れた内容の改正を行いました。

12 「福島県立医科大学大学院看護学研究科委員会規程」の一部改正（平成20年12月16日制定・施行）

根拠規程となる大学院学則の改正に伴い、根拠条文の整理（大学院学則第10条第5項から第10条第3項への改正）を行いました。

13 「福島県立医科大学動物実験委員会規程」の一部改正（平成20年12月24日制定・平成21年 2月 1日施行）

動物実験計画書の申請を学内 LAN で行えるよう様式の改正を行うとともに、動物実験計画の承認期間を年度毎から最長2か年度とすることにしました。

14 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正（平成20年12月24日制定・平成21年 1月 1日施行）

分娩に関連して発症した重度脳性麻痺児に対する補償の機能と脳性麻痺の原因分析・再発防止の機能とを併せ持つ「産科医療補償制度」が平成21年 1月から開始されたことに伴い、本法人としてもその制度への加入を行い、分娩介助料についての所要の改正を行いました。

15 「公立大学法人福島県立医科大学職員服務規程」の一部改正（平成20年12月24日制定・施行）

育児短時間勤務制度及び自己啓発休業制度を行うのに必要な請求書等の様式を定めました。

16 「福島県立医科大学医学部履修規程」の一部改正（平成20年12月26日制定・平成21年 4月 1日施行）

医学部の授業カリキュラムの変更に伴い、別表1～4の改正を行いました。

17 「公立大学法人福島県立医科大学事務決裁規程」の一部改正（平成21年 1月15日制定・平成21年 4月 1日施行）

法人化後、法人の組織再編等が行われたことにより、不明確になっていた事務決裁区分について、区分の細分化を図る改正を行いました。

また、決裁事務量の増加に対応するため、理事長専決区分の見直しも行いました。

18 「公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則」の一部改正及び「公立大学法人福島県立医科大学教員の任期に関する規程」（平成21年 1月16日制定・施行）

教員の雇用にあたり、任期制を導入するため、就業規則の見直しを行うとともに、教員の任期について定めた規定を制定しました。

19 「公立大学法人福島県立医科大学役職員倫理規程」の一部改正（平成21年 1月29日制定・平成21年 2月 1日施行）

添付資料の軽減を図るため、様式第1号（飲食、ゴルフ等の届出簿）の記載事項を改めるとともに、関係規定の整備を行いました。

役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

■ 役員会

【平成20年7月30日 第6回役員会】

- ・「倫理委員会」委員の選任

次のとおり理事長が選任した旨報告があった。

安村 誠司 教授（医：公衆衛生学講座）

平岩 幸一 教授（医：法医学講座）

渡辺 毅 教授（医：内科学第三講座）

山口 脩 教授（医：泌尿器科学講座）

藤野美都子 教授（医：人間科学講座）

横田 素美 教授（看：基礎看護学部門）

真壁 玲子 教授（看：応用看護学部門）

勢島 昇 学外委員

山口 忠宏 学外委員

須佐由起子 学外委員

任期は、平成20年8月1日から2年間

■ 経営審議会

【平成20年6月23日 第1回経営審議会】

- ・平成19年度業務実績報告書（案）
平成19年度業務実績報告書（案）が承認された。
- ・平成19年度決算（案）
平成19年度決算（案）が承認された。
- ・公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正
性差医療に係るカウンセリング料の新設、先進医療に係る料金の削除が承認された。

【平成20年9月29日 第2回経営審議会】

- ・公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正
産科医療補償制度への加入に伴う分娩介助料に係る料金の改正が承認された。

【平成20年12月4日 第3回経営審議会】

- ・公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則の一部改正
任期付教員制度の導入に伴う就業規則の改正が承認された。

■ 教育研究審議会

【平成20年6月20日 第1回定例教育研究審議会】

- ・大学院医学研究科専攻の再編
来年度、大学院医学研究科の4専攻を1専攻に再編するとともに、学生のキャリアプランに応じて「高度医学研究者コース」と「専門医研究者コース」の2つのコースを設

置するため、事務手続きを進めていくことが了承された。

- ・看護学部のカリキュラムの改正

保健師助産師看護師学校養成所指定規則等が一部改正されたことに伴い、平成21年度からの新入生のカリキュラムの改正を行うことが了承された。

【平成20年9月19日 第2回定例教育研究審議会】

- ・福島県立医科大学大学院学則の一部改正

大学院医学研究科の4専攻を1専攻に再編することに伴う関係規定の改正、インターネット等を利用した遠隔教育を行う場合の根拠規定の整備案が審議され、承認された。

- ・寄附講座の設置並びに組織及び運営規程の一部改正

奨学を目的とする民間等からの寄附等を有効活用し、教育研究の進展及び充実に資するため、寄附講座を設置するための規程（公立大学法人福島県立医科大学寄附講座に関する規程）を制定することが承認された。

また、寄附講座の設置に関連して、「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」を一部改正する案も諮られ、承認された。

【平成20年12月19日 第3回定例教育研究審議会】

- ・公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則の一部改正

平成21年度から新たに採用する教員に対し、任期制の導入を図るため、職員就業規則の一部改正について審議され、原案のとおり承認された。

■ 医学部教授会

【平成20年6月18日 定例教授会】

- ・倫理委員会委員の推薦

次のとおり推薦され、その後、理事長から任命された。

生命科学・社会医学系から

安村 誠司 教授（公衆衛生学講座）

平岩 幸一 教授（法医学講座）

臨床医学系から

渡辺 毅 教授（内科学第三講座）

山口 脩 教授（泌尿器科学講座）

任期は、平成20年8月1日から2年間

■ 看護学部教授会

【平成20年6月17日 定例教授会】

- ・倫理委員会委員の推薦

次のとおり推薦され、その後、理事長から任命された。

横田 素美 教授（基礎看護学部門）

真壁 玲子 教授（応用看護学部門）

任期は、平成20年8月1日から2年間

雑 報

■ 倫理委員会

【平成20年 4月 4日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.685 症状自己管理教室の再発予防における意義についての研究
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
- No.687 早産児におけるRSウイルス感染予防とその後の反復性喘鳴発症抑制効果の検討
(申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)
- No.688 臍・臍島移植患者のQOL評価
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.689 進行再発肺癌に対する腫瘍新生血管を標的としたHLA-A*0201拘束性エピトープペプチドとgemcitabine併用による抗癌剤併用がんワクチン療法(第I相臨床試験)
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.690 発作性夜間血色素尿症の異常クローン拡大に関する遺伝子の検索
(申請者：内科学第一講座 教授 竹石恭知)
- No.691 同種末梢血幹細胞移植のための高齢者健康人ドナーからの末梢血幹細胞動員・採取の検討
(申請者：内科学第一講座 教授 竹石恭知)
- No.692 サポートグループに参加する乳がん体験者の心身の状態とQOL調査
(申請者：生態看護学部門 助教 菅野久美)
- No.694 本邦における子宮内膜症の癌化の頻度と予防に関する疫学研究 (Japan endometrioma malignant transformation study : JEMS)
(申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)
- No.695 NASH 特異的血清マーカーの探索と疾患感受性遺伝子多型に関する研究
(申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正)

【平成20年 5月 9日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.693 新規DNAプローブを用いた白血球中細菌核酸同定検査およびPCR法による敗血症診断の研究
(申請者：感染制御・臨床検査医学講座 教授 金光敬二)
- No.696 再発甲状腺癌手術におけるナビゲーション手術
(申請者：低侵襲・最先端外科 部長 竹之下誠一)
- No.697 臍帯血中ヒトグルココルチコイドレセプターの遺伝子多型とステロイド抵抗性に関する検討
(申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮)
- No.699 周手術期患者に対する病棟看護師の臨床判断の内容

- (申請者：生態看護学部門 助教 飯塚麻紀)
- No.700 肝癌手術に対する術後感染予防薬の投与期間に関する比較試験
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.701 C型慢性肝炎におけるCD4⁺CD25⁺FoxP3⁺制御性T細胞：Toll-like receptorとFoxP3の制御による抑制機能の調節
(申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正)
- No.702 遺伝性褐色細胞腫・パラガングリオーマ症候群(HPPS)の遺伝子解析の方法と評価に関する研究
(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)
- No.703 無症候性頸動脈高度狭窄症の治療成績に関する観察研究
(申請者：脳神経外科学講座 准教授 佐々木達也)

【平成20年 6月 6日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.704 成人期注意欠陥/多動性障害患者に対するコンサータ錠の有効性の検討
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)
- No.705 地域における高齢者の聞こえの実態と生活意欲及び社会的活動との関連
(申請者：ケアシステム開発部門 教授 結城美智子)
- No.706 壮年期乳がん患者が病気に関する情報を子どもへ伝えていく中での思い
(申請者：応用看護学部門 教授 真壁玲子)
- No.707 看護職者ががん患者の疼痛を全人的に理解するプロセス—マッサージを用いたホリスティックケアを通して—
(申請者：生態看護学部門 教授 荒川唱子)
- No.708 NICU看護師の看護の姿勢とそれに影響する要因—障害を持つ子どもの母親へのケアに焦点を当てて—
(申請者：生態看護学部門 准教授 鈴木千衣)
- No.709 排泄の自立を失った状態からの回復過程と気持ちの変化—脳血管疾患患者の体験—
(申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
- No.710 統合失調症患者と同居する家族の生活体験
(申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
- No.711 地域社会で生活をするがん体験者の経験の意味とプロセス—胃がん体験者に焦点をあてて—
(申請者：生態看護学部門 講師 伊藤由里子)
- No.712 精神疾患における経時的モノアミン代謝産物(HVA・MHPG・5-HIAA)測定による薬剤(抗精神病薬リスペリドン錠剤および水薬)反応性の比較検討
(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)

【平成20年 7月 4日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】

- No.686 統合失調症の心理社会的治療—認知機能リハビリ

<p>テーション— (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.715 今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病（CKD）の位置付けに関する検討 (申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.716 精神障害を持つ患者に対する服薬自己管理教室の効果研究 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.717 高血圧患者の降圧目標達成状況の関連要因の解明に関する研究 (申請者：公衆衛生学講座 教授 安村誠司)</p> <p>No.718 皮膚リンパ腫臨床統計調査研究計画 (申請者：皮膚科学講座 教授 山本俊幸)</p> <p>No.719 全新生児を対象とした先天性サイトメガロウイルス（CMV）感染スクリーニング体制の構築に向けたパイロット調査と感染児臨床像の解析エビデンスに基づく治療指針の基盤策定 (申請者：産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)</p> <p>No.720 抗癌剤の適正使用に関する遺伝子多型の解明 (申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.721 標準療法不応・進行食道癌に対する新規腫瘍関連抗原遺伝子由来 HLA-A24拘束性エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法（第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験） (申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.722 IgA 腎症患者における高用量 ARB 投与の有用性に関する検討バルサルタンとカンデサルタンの効果の比較検討 (申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.723 ヒト腎組織における Na⁺/Ca⁺ 交換輸送体の局在の検討 (申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.724 高血圧関連遺伝子多型、特に GRK4 単一塩基遺伝子多型が各種動脈硬化指標の進展に果たす影響の検討 (申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)</p> <p>No.725 学童後期から思春期の小児がん患者に対する医師および看護師の支援の実態—入院から寛解導入療法開始までに焦点をあてて— (申請者：附属病院 主任看護技師 金澤久美)</p> <p>No.726 院内転倒・転落に影響を与える要因の解明と転倒・転落危険度評価チャート作成および医療情報システムへの導入に関する研究 (申請者：医療安全管理部 部長 橋本重厚)</p> <p>No.727 頭頸部がん体験者が日常生活を送る上で抱える問題 (申請者：応用看護学部 教授 真壁玲子)</p> <p>No.728 未成年者をドナーとする生体部分肝移植の臨床応用</p>	<p>(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>【平成20年8月8日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】</p> <p>No.698 筋硬度計の開発—有用性の検討 (申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一)</p> <p>No.713 不均一連発磁気刺激法のてんかん治療応用に関する研究 (申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>No.714 不均一連発磁気刺激法によるヒト大脳皮質興奮性調節に関する研究：運動皮質と感覚皮質の調節に関して (申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>No.729 携帯電話からの電波の睡眠に対する影響に関する研究 (申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>No.730 腰部脊柱管狭窄における PAD (peripheral artery disease) 合併例に関する探索的研究 (申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一)</p> <p>No.731 敗血症患者におけるガンマグロブリン製剤の有用性の検討 (申請者：救急科 部長 田勢長一郎)</p> <p>No.732 事業所従業員が運動教室参加後、運動を継続していく要因の検討 (申請者：ケアシステム開発部門 教授 黒田眞理子)</p> <p>No.734 新型インフルエンザウイルスに対するプレパネドミックワクチンの安全性の研究 (申請者：感染制御・臨床検査医学講座 教授 金光敬二)</p> <p>No.735 肝細胞癌に対する生体部分肝移植の臨床応用 (申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.736 β遮断薬による術後鎮痛、炎症抑制に関する研究 (申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.737 テブレノンによる抗炎症作用、臓器保護に関する研究 (申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.738 地域住民における未受診者対策を含めた特定健診・特定保健指導を用いた循環器疾患予防に関する研究 (申請者：衛生学・予防医学講座 教授 福島哲仁)</p> <p>No.739 補足運動野に対する反復経頭蓋磁気刺激によるパーキンソン病の運動・非運動症状への効果に関する研究 (申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>No.740 内視鏡的逆行性胆膵管造影（ERCP）の際の胆管挿管における造影法とガイドワイヤー先進法の安全性、有効性の比較に関する多施設共同研究 (申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.741 原発性胆汁性肝硬変症（PBC）の発症と進展の</p>
--	---

<p>機序に関する研究 (申請者：生化学講座 学内講師 森 努) 【平成20年 9月 5日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.733 肺がんのゲノム解析を基にした診断・治療への臨床応用研究 (申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.742 重症大動脈弁狭窄症における麻酔導入前からのIABP使用の有用性の事後検討 (申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.743 連発磁気刺激法が脳血流変化に与える影響の光トポグラフィーによる研究 (申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>No.745 培養によらない細菌・真菌の定量的な解析と同定法の検討 (申請者：微生物学講座 教授 錫谷達夫)</p> <p>No.747 Aripirazoleの社会認知への影響に関する臨床研究 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.748 胃腸炎を引き起こすノロウィルスのレセプターの研究 (申請者：生化学講座 教授 橋本康弘)</p> <p>No.749 膵液及び胆汁中のバイオマーカーを用いた膵臓及び胆道系疾患の研究 (申請者：生化学講座 教授 橋本康弘)</p> <p>No.750 訪問看護場面における看護師がみる看護師の熟練のわざ (申請者：基礎看護学部門 助教 丸山育子)</p> <p>No.751 合併症をもつ精神科入院患者に対する看護必要度の実態把握に関する研究 (申請者：ケアシステム開発部門 准教授 大竹真裕美)</p> <p>No.752 超音波内視鏡による早期慢性膵炎診断とマイクロバブル：超音波診断用造影剤(注射用ペルフルプタン)を用いた膵実質の造影超音波観察 (申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.753 看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究—臨床経験1年目から5年目の看護系大学卒の看護師を対象とした質問紙調査— (申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)</p> <p>No.754 BS-POPの妥当性および信頼性の検討 (申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一)</p> <p>No.755 CTによるClinical single station N2症例に対するprospective phase II研究プロトコール (申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一) 【平成20年10月 3日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.746 妊娠中のサイトメガロウイルス感染の疫学調査 (申請者：微生物学講座 教授 錫谷達夫)</p> <p>No.756 遺伝子学的手法を用いたセンチネルリンパ節転移</p>	<p>の術中迅速診断法 (申請者：耳鼻咽喉科学講座 教授 大森孝一)</p> <p>No.758 青少年野球選手を対象とした野球肩・野球肘の調査 (申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一)</p> <p>No.759 新しい「地域医療システム」構築に向けて：健康診査・国民健康保険・介護保険データの統合による地域特性を踏まえた解析に基づく医療政策立案・推進の可能性・妥当性の研究 (申請者：地域・家庭医療部 教授 葛西龍樹)</p> <p>No.760 慢性心不全急性増悪による再入院ゼロをめざして～実態調査から患者・家族への支援方法を考える～ (申請者：看護部 主任看護技師 水口真奈美)</p> <p>No.761 授業過程評価スケール—看護学実習用—を用いて行う実習指導に対する学生評価 (申請者：看護部 主任看護技師 我妻信子)</p> <p>No.762 慢性腎臓病および糖尿病患者における皮膚蛍光強度の検討 (申請者：内科学第三講座 准教授 加藤哲夫) 【平成20年11月 7日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.744 消化器疾患に対するプロバイオティクスを用いた治療の検討 (申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.763 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の胃排出機能の変化 (申請者：内視鏡診療部 部長 小原勝敏)</p> <p>No.765 2種類の分離肺換気用気管チューブにおける体位変換による移動距離の比較 (申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.766 Radical-7 Pulse CO-Oximetry経皮的トータルヘモグロビン測定機器の精度検証 (申請者：麻酔・疼痛緩和科 教授 村川雅洋)</p> <p>No.767 プリパレーション導入・定着に向けたアクションリサーチ—多施設協同システムの検討— (申請者：生態看護学部門 准教授 鈴木千衣)</p> <p>No.768 家族性に発生した骨原発性悪性腫瘍の要因解明 (申請者：整形外科科学講座 教授 紺野慎一)</p> <p>No.769 看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究—質的な方法による縦断的・横断的調査— (申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子) 【平成20年12月 5日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.771 薬剤性口腔乾燥を有する患者を対象としたピロカルピン・アルギン酸ナトリウム含有液剤の有効性および安全性の検討 (申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.775 消化器病患者における適応障害および抑鬱状態のスクリーニングと対策</p>
---	--

- (申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.778 子宮動脈塞栓術後痛における硬膜外鎮痛法—各症局所麻酔薬の効果と副作用の比較検討—
(申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)
- No.780 滲出型加齢黄斑変性症 (AMD) に対する光線力学的療法 (PDT) におけるレーザー照射エネルギー量に関する臨床研究
(申請者：眼科学講座 教授 飯田知弘)
- 【平成20年12月10日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】**
- No.770 ヒト胎児ヘモグロビンの安定性に関する研究
(申請者：自然科学講座 教授 落合彦彦)
- No.773 非小細胞肺癌完全切除例に関する新規腫瘍関連抗原遺伝子由来 HLA-A24拘束性エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法 (ランダム化第Ⅱ相臨床試験)
(申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一)
- No.774 切除不能進行・再発大腸癌一次治療における FOLFIRI、ペバシズマブ併用療法の第Ⅱ相臨床試験
(申請者：臨床腫瘍センター 部長 石田 卓)
- No.776 移植後再発患者および免疫抑制状態での重症感染症患者に対する活性化 CD4T 細胞輸注療法
(申請者：臨床腫瘍センター 病院教授 菊田 敦)
- No.781 本邦における心血管インターベンションの実態調査 (J-PCI)
(申請者：内科学第一講座 教授 竹石恭知)
- No.782 急性心不全多施設前向き観察コホート研究 Acute Decompensated Heart Failure Syndromes Registry in Japan — Multicenter prospective observational cohort study —
(申請者：内科学第一講座 教授 竹石恭知)
- No.783 遺伝性褐色細胞腫・パラガングリオーマ症候群 (HPPS) におけるコハク酸脱水素酵素遺伝子変異の保因者診断
(申請者：内科学第三講座 教授 渡辺 毅)
- No.784 虚血性心疾患における不安定プラークバイオマーカーと光干渉断層撮影法 (OCT) による冠動脈プラーク所見との関連
(申請者：内科学第一講座 教授 竹石恭知)
- No.785 看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究—看護実践能力自己評価尺度 (質問紙) の併存妥当性の検討—
(申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)
- No.786 腎癌 SOCS および JAK/STAT 関連遺伝子の検討
(申請者：泌尿器科学講座 教授 山口 脩)

■ 医学部定員増の実施について

1 医学部定員増

昨年度、国の新医師確保総合対策等により、平成20年度入学生から平成29年度まで、医学部の入学定員が80名から95名に増員することが認められた。さらに、今年度は、「経済財政改革の基本方針2008」を踏まえ、医師不足が深刻な地域や診療科の医師確保のための実効ある取組を講ずること等を前提に、平成21年度から医学部入学定員増を容認することが文部科学省から通知されたことから、さらなる医学部入学定員増の実施について県とともに検討し、5名の入学定員増について国等と協議し、容認された。このため、平成20年11月5日付で学則の改正届出を文部科学大臣宛に提出し、所定の手続きを終了した。

これにより、平成21年度入学生から平成29年度まで入学定員は100名となった。

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入学定員	95人	100人	100人	100人	100人	100人
収容定員	495人	515人	535人	555人	575人	595人

年 度	平成26年度 } 平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
入学定員	100人	85人	85人	85人	85人	85人
収容定員	600人	585人	570人	555人	540人	525人

2 推薦入試の定員増

医学部定員増の実施に伴い 推薦入試 (地域枠) の定員が、県内枠及び県外枠ともに増員された。

推薦入試募集定員：30名以内 (県内23名程度、県外7名程度)

県内枠：県内の1高校からの推薦人員 7名以内

県外枠：県外の1高校からの推薦人員 2名以内

(県外枠については福島県緊急医師確保修学資金 (第1種貸与) の貸与を受ける意志のある者とする。)

■ 福島県立医科大学ビジョン2008

平成20年11月2日、光が丘キャンパス移転20周年、看護学部設置10周年、更に完全独立法人化と、新たなステージに立った本学が、学内アンケート等を基に策定した将来像を「ビジョン2008」として宣言しました。

I 県民医療の原点としての福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、人々の健康を守る優れた医療人を育成し、医療における“福島モデル”の創出を目指します」

II 学生を魅了する福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、向学心に燃えた“次世代の学生”が集う“魅力”ある大学になります」

Ⅲ 世界標準となる新しい医療を創る福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、“連携力・研究力”で世界に通じる新たな医療の創出を目指します」

Ⅳ 心通う保健医療を追究する福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、人々の声に耳を傾け、“心通う保健医療”の実現を目指します」

Ⅴ 常に発展する福島県立医科大学

「福島県立医科大学は、“自らの意志”で将来を展望し“進化”し続けます」

「ビジョン2008」は、福島県立医科大学の持つ人材・資源・潜在能力・可能性を基盤として、学生が魅力を感じる将来像、県民の期待する将来像、職員の士気を高める将来像、そして大学全体としての目指すべき将来像を示すものです。今後、学内の一人ひとりが、この「ビジョン2008」を共有し、この宣言を念頭にして、これまで以上に県民の健康・医療・福祉に貢献する魅力ある大学を形成して行くことを宣言します。

■ 福島県立医科大学のシンボルマーク及びロゴタイプ

平成20年11月2日、光が丘キャンパス移転20周年、看護学部設置10周年、更に完全独立法人化を記念して本学イメージデザインマークの公募により決定しました。

〈シンボルマーク〉



(色はC100%+Y100%)

〈ロゴタイプ〉

漢字 公立大学法人

福島県立医科大学

欧字 FUKUSHIMA MEDICAL UNIVERSITY

シンボルマークは、本学の頭文字「F」をモチーフにしてイメージアンケートからサクラの花びらを組合せ、緑色を基色として、花びらの小から大への広がり、研究・創造の広がりや世界への広がりをイメージしています。

また、ハートも融合し、生命を尊ぶ医療人の心を表現しています。原案は、東京都の立志哲洋氏、ロゴタイプは(株)ライトエージェンシーによるものです。

シンボルマークとロゴタイプは、単独若しくは組み合わせて使います。

■ 中国武漢大学との学術交流基本協定の締結について

本学においては、「世界に開かれた大学」として海外の教育機関、研究機関等との連携・交流等を積極的に展開していくこととしていますが、国際交流に関する学術交流基本協定を締結している中華人民共和国の武漢大学との基本協定が平成21年1月で満了となることから、菊地臣一理事長兼学長及び福島哲仁教授（企画室国際交流担当、衛生学・予防医学講座）が武漢大学を訪問し、平成20年11月12日に基本協定を締結（更新）しました。

武漢大学とは、平成11年2月に当時の湖北医科大学と基本協定を締結して以来、教員の相互交流を行ってきましたが、約10年に渡るこれまでの実績を踏まえ、協定期間を平成26年1月まで5年間延長し、今後も学術交流を積極的に推進していくこととします。

○基本協定の主な合意項目

- ・研究及び教育のため教員、研究員及び学生の交換を行う。
- ・協力して科学研究を行う。
- ・学術情報、研究論文、学位論文目録及び関連研究に関する書物や雑誌等の交換を行う。
- ・学術会議へ参加の招聘を行い、国内及び国際会議への参加に便宜を図る。



■ 寄附講座の開設について

本学では次のとおり、寄附講座を開設しました。

○名 称

臨床ゲノム学講座

○設置期間

平成20年12月15日～平成25年12月14日（5年間）

○寄附者名

(株)ニッポンジーン

(株)メディクローム

マイクロダイアグノスティック(株)

○寄附金額

総額 1億4千万円（5年間）

○組織上の位置付け

トランスレーショナルリサーチ（TR）センターの内部組織

（設置場所：東京都渋谷区千駄ヶ谷3-8-22）

○研究体制

任期付教員（常勤）3名

○研究テーマ

「がんを中心とした臨床検体の網羅的遺伝子発現解析」

■ 学生の部活動報告

混声合唱団

団長 森 冬人
（医学部第3学年）

私たちは1年10名、2年4名、3年6名、4年6名、5年2名、6年5名の計33名で活動しています（2009年1月現在）。9月に開催する定期演奏会と、12月に医大附属病院等で行うクリスマスキャンドルサービスが主な活動です。また、入学式や卒業式などの式典では学生歌を演奏し、新入生には学生歌の指導もしています。その他、一部の有志で福島県の声楽アンサンブルコンテストにも参加しています。

普段は週3回ほど練習をしており、腹筋などの基礎的なことや、定期演奏会などの曲のパート練習、合わせの練習

をしています。夏には2回の合宿を行い、定期演奏会の直前はほぼ毎日遅くまで練習して曲を仕上げています。入団してくる人は、高校で本格的に合唱をしていた人もいますが、初心者も大勢います。最初の実力は様々ですが、ボイストレーナーをして下さる仲村陽子先生や先輩方の指導もあり、初めはあまり声の出なかった人でも、数年で別人のように上達することもしばしばあります。

定期演奏会では、外国語曲から日本語曲、ポップスなど毎年様々な曲を演奏しております。また、ミュージカル風なステージや、卒業生の方々と一緒に演奏するステージもあります。昨年の第39回定期演奏会には、合唱好きでいらっしゃる佐藤雄平福島県知事もご覧になり大変緊張いたしました。無事に成功させることができました。今年も多くの方にご来場していただけるよう、よりよい定期演奏会を開きたいと思います。

合唱にはスポーツのような勝利もなければ、バンドのような格好良さもないかもしれません。しかし、合唱をしていると様々な人たちと“つながる”ことができます。子どもや高齢の方とも一緒に歌えます。合唱団を卒業した方々とも一緒に歌い、楽しむことができます。一人だと恥ずかしくて歌えない人も、合唱なら楽しめるということもあるでしょう。もちろん芸術として極めることも合唱の面白さではありますが、多くの方と一緒に歌い、感情を共有できるということが合唱の最大の魅力だと感じています。

最後になりましたが、顧問の和栗先生をはじめ、私たちの活動を支えて下さる多くの方々に厚く御礼申し上げます。今後とも宜しく願いいたします。



昨年6月に行われた「アニバーサリー2008記念式典」本番前の控室にて

編集発行 公立大学法人福島県立医科大学
事務局企画財務課
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL 024(547)1013 FAX 024(547)1991

■ 平成20年度 科学研究費補助金採択状況

(平成21年2月1日現在)

所 属	職	氏 名	研究 種 目	課 題 番 号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)				
						20年度	21年度	22年度	23年度	
医 学 部	神経解剖・発生学講座	教 授	八木沼洋行	基盤研究(C)一般	20500311	サブグループ特異的運動神経細胞死における Hox 遺伝子の関与の解明	1,900	800	800	0
	神経解剖・発生学講座	助 教	増田 知之	基盤研究(C)一般	19590191	脊髄一次求心性線維の標的認識機構に関与する新規軸索誘引因子の検索	1,400	0	0	0
	解剖・組織学講座	教 授	和栗 聡	基盤研究(C)一般	19590193	哺乳類トランスゴルジ網およびエンドソームにおける分子選別の時空間解析	1,400	0	0	0
	解剖・組織学講座	講 師	山本 雅哉	基盤研究(C)一般	19510227	繊維芽細胞成長因子 (FGF) 21の機能発現に関わる分子の同定	1,700	0	0	0
	解剖・組織学講座	講 師	亀高 諭	特定領域研究	20034046	クラスリン被覆小胞形成の試験管内再構成	1,400	1,500	0	0
	解剖・組織学講座	講 師	亀高 諭	若手研究(B)	20770159	ショウジョウバエ培養細胞系を用いたリソソーム酵素局在化の分子機構の解析	2,100	1,300	0	0
	細胞統合生理学講座	教 授	狭間 章博	基盤研究(C)一般	20590211	リソソーム安定化によるネクロシス性細胞死防御	1,900	1,200	600	0
	神経生理学講座	講 師	高橋 和巳	基盤研究(C)一般	20500288	睡眠・覚醒時のヒスタミンニューロンが示す活動変化の制御メカニズムの解明	1,800	900	900	0
	生化学講座	教 授	橋本 康弘	特定領域研究	20023023	ベータ・セクレターゼ活性をモニターするためのバイオマーカーの検索	3,400	3,400	0	0
	免疫学講座	准教授	遠藤 雄一	基盤研究(C)一般	18590476	パターン認識分子フィコリンの自然免疫における役割	1,000	0	0	0
	免疫学講座	助 教	岩城 大輔	若手研究(B)	19770113	病原感染による補体レクチン経路活性化におけるセリンプロテアーゼ MASP の機能解析	1,100	1,000	0	0
	薬理学講座	助 教	坂本 多穂	若手研究(B)	20790210	スタチンによる横紋筋融解症の発症機序の解明	1,900	1,300	0	0
	微生物学講座	教 授	錫谷 達夫	基盤研究(C)一般	20591923	培養によらない細菌・真菌の定量と菌種同定法を用いた腔常在細菌叢と疾患の解析	1,200	1,100	1,200	0
	病理学第二講座	准教授	杉野 隆	基盤研究(C)一般	20590406	癌転移の多様性に対応するモデルの作製と分子メカニズムの解明	1,500	1,400	700	0
	衛生学・予防医学講座	教 授	福島 哲仁	基盤研究(C)一般	18590563	パーキンソン病発症に関する栄養的要因の日本中国共同研究	1,400	0	0	0
	衛生学・予防医学講座	講 師	早川 岳人	基盤研究(C)一般	20590515	循環器疾患の登録を実施している地域住民の生活習慣と認知機能低下に関する追跡研究	1,000	1,000	900	800
	衛生学・予防医学講座	講 師	神田 秀幸	若手研究(B)	20790444	新しい喫煙依存度簡易質問票日本語版の作成と有効性・信頼性に関する研究	800	1,000	0	0
	公衆衛生学講座	助 教	横川 博英	若手研究(B)	20790445	高血圧患者の降圧目標達成状況および治療中断の関連要因の解明に関する研究	900	600	700	0
	法医学講座	助 手	加藤 菜穂	若手研究(B)	20790464	下肢虚血再還流障害の病態生理解析	1,500	1,000	800	0
	内科学第一講座	教 授	竹石 恭知	基盤研究(C)一般	19590804	Pentraxin3 の心不全発症と進展における役割	1,600	0	0	0
	内科学第一講座	助 教	杉本 浩一	若手研究(B)	20790538	酸化 LDL による血管内皮機能不全の分子機構解明に関する研究	2,100	1,200	0	0
	内科学第一講座	博 士 研究員	阪本 貴之	若手研究(B)	19790536	単球接着による血管内皮細胞でのシグナル伝達・遺伝子発現調節機構に関する研究	1,400	0	0	0
	内科学第二講座	助 教	片倉 響子	若手研究(B)	20790502	TLR を介したサイトメガロウイルス感染による炎症性腸疾患増悪機序の解明	2,000	1,300	0	0
	外科学第一講座	講 師	鈴木 弘行	基盤研究(C)一般	19591635	細胞周期を標的とした癌の免疫学的制御の試み	1,000	0	0	0
	外科学第一講座	助 教	伊勢 一哉	基盤研究(C)一般	19591211	若年発症 I 型糖尿病に対する膵島移植—成長と膵島再生の機能連鎖	1,400	0	0	0
	外科学第一講座	助 教	見城 明	基盤研究(C)一般	20591636	膵癌の治療抵抗性に関する樹状細胞を中心とした細胞性免疫学的検討	1,500	1,000	1,000	0
	外科学第一講座	助 教	山下 方俊	基盤研究(C)一般	20591227	若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植—ティッシュエンジニアリングの利用	1,500	1,000	1,000	0
	外科学第一講座	博 士 研究員	星野 実加	若手研究(B)	20790934	BRM による樹状細胞の機能修飾を用いた癌治療の試み	2,400	900	0	0
	外科学第二講座	講 師	小山 善久	基盤研究(C)一般	19591552	DNA トポイソメラーゼ I の転写制御の機序とイリノテカン感受性の検討	1,300	700	0	0
	外科学第二講座	助 教	安田 満彦	萌芽研究	19659326	乳癌におけるリンパ管増生と乳房リンパ管の3次元病理解析	900	0	0	0
	外科学第二講座	助 教	岩館 学	若手研究(B)	19790924	サーカディアンリズムを利用した新たな癌放射線療法の確立	1,300	600	0	0
心臓血管外科学講座	教 授	横山 斉	基盤研究(C)一般	20591651	心拍動下手術における3次元デジタル解析システムを用いた手術野固定法の改良	1,100	1,000	1,000	0	

所 属	職	氏 名	研究種目	課題番号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)				
						20年度	21年度	22年度	23年度	
医 学 部	形成外科学講座	教 授	上田 和毅	基盤研究(C)一般	18591968	脱神経萎縮防止に関する実験的研究・流入型端側神経縫合の検討	900	0	0	0
	形成外科学講座	准教授	梶川 明義	基盤研究(C)一般	20592100	顔面成長異常に対する下顎骨の成長制御に関する研究	1,500	1,000	1,000	0
	形成外科学講座	助 教	大河内(渡辺)裕美	若手研究(B)	20791312	血管吻合部付近の形状と開存率の検討	1,300	600	600	600
	産科婦人科学講座	助 教	西山 浩	若手研究(B)	19791157	高腹膜転移卵巣癌細胞株における Neuregulin 関与の検討	1,500	0	0	0
	産科婦人科学講座	助 教	高橋 秀憲	若手研究(B)	20790770	胎児期・乳幼児期を起原とした生活習慣病・アレルギー性疾患の発症機序についての研究	2,000	1,200	0	0
	産科婦人科学講座	助 手	伊藤 明子	若手研究(B)	20791155	インスリン抵抗性改善薬が多嚢胞性卵巣症候群の子宮内膜に与える影響	1,700	600	900	0
	小児科学講座	教 授	細矢 光亮	基盤研究(C)一般	18591161	インフルエンザ脳症の病態モデルの作成と、その増悪及び改善因子の検討	1,000	0	0	0
	小児科学講座	准教授	川崎 幸彦	基盤研究(C)一般	20591283	腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割と再生促進因子の解明	1,500	1,000	1,000	0
	小児科学講座	講 師	橋本 浩一	基盤研究(C)一般	18591196	SOCS 遺伝子抑制による RSV 感染症の新たな治療法確立の検討	600	0	0	0
	眼科学講座	教 授	飯田 知弘	基盤研究(C)一般	19592029	眼内血管新生病変におけるチミジンホスホリラーゼの発現とその阻害剤による治療	1,500	0	0	0
	泌尿器科学講座	教 授	山口 脩	基盤研究(C)一般	20591884	閉塞が徐々に完成する新しい BPH モデルによる閉塞膀胱の病態とそのメカニズムの解明	2,600	1,000	100	0
	耳鼻咽喉科学講座	教 授	大森 孝一	基盤研究(B)一般	19390437	頭頸部臓器における多層構造再生技術の開発	5,200	0	0	0
	耳鼻咽喉科学講座	教 授	大森 孝一	萌芽研究	19659438	脂肪組織由来幹細胞の自家移植による聴覚機能再生	1,300	0	0	0
	耳鼻咽喉科学講座	准教授	小川 洋	基盤研究(C)一般	19591982	臍帯を用いた先天難聴原因検索	1,500	0	0	0
	耳鼻咽喉科学講座	講 師	多田 靖宏	基盤研究(C)一般	20592024	組織工学的手法を用いた新たな人工気管の開発と気管再生における上皮化機序の解明	1,900	1,000	600	0
	耳鼻咽喉科学講座	助 教	横山 秀二	若手研究(B)	19791220	気道領域におけるヒト組織の培養および再生に関する研究	800	800	0	0
	耳鼻咽喉科学講座	助 教	野本 幸男	若手研究(B)	20890181	ティッシュエンジニアリングによる培養気管の開発に関する研究	1,250	1,040	0	0
	耳鼻咽喉科学講座	博 士 研究員	渡邊 睦	基盤研究(C)一般	19591983	ティッシュエンジニアリングによる気管再生誘導技術の開発	1,100	0	0	0
	耳鼻咽喉科学講座	博 士 研究員	鈴木 雪恵	若手研究(B)	19791221	脂肪組織由来幹細胞による気管再生治療法の開発	1,100	0	0	0
	神経精神医学講座	教 授	丹羽 真一	基盤研究(B)一般	20390315	質量顕微鏡による統合失調症脳のドパミン・グルタミン酸・ギャバ系の解析	4,700	2,200	2,100	0
	神経精神医学講座	教 授	丹羽 真一	萌芽研究	19659293	統合失調症における神経興奮のドパミン・グルタミン酸による拮抗的調節機構の異常	1,200	0	0	0
	神経精神医学講座	准教授	矢部 博興	基盤研究(B)一般	19390299	統合失調症における感覚記憶内の時間軸異常に関する研究	1,200	1,200	1,500	0
	神経精神医学講座	助 教	小林 直人	若手研究(B)	19790824	認知症病名告知における心理的側面の検討	200	100	0	0
	神経精神医学講座	研究員	高梨 靖子	若手研究(B)	18790843	成人の注意欠陥多動性障害とアスペルガー障害の行動特性チェックリストの作成	500	0	0	0
	麻酔科学講座	教 授	村川 雅洋	基盤研究(C)一般	20591839	術後せん妄の神経化学的研究	1,100	1,100	1,300	0
	感染制御・臨床検査医学講座	准教授	今福 裕司	基盤研究(C)一般	19590567	プロテオミクスを用いた抗核抗体および自己抗体の検出と同定	1,300	0	0	0
	人間科学講座	講 師	中川(末永)恵子	基盤研究(C)一般	19520577	日中戦争期における同仁会の活動実態	500	500	500	0
	自然科学講座	講 師	谷口 暢一	若手研究(B)	19750081	銅触媒によるジカルコゲニド結合の開裂を伴う立体選択的有機カルコゲニド化合物の合成	500	0	0	0
	生体物質研究部門	講 師	本間美和子	基盤研究(C)一般	20570137	クロマチンダイナミクスにおける CK2 機能の解明	1,400	1,200	1,200	0
	細胞科学研究部門	教 授	和田 郁夫	特定領域研究	19037020	細胞内膜管腔系における 1 分子ダイナミクスの研究	2,400	0	0	0
細胞科学研究部門	教 授	和田 郁夫	基盤研究(B)一般	19370044	成熟過程における分泌系カーゴタンパク質のゲーティング・パーミッション機構の研究	6,700	0	0	0	
細胞科学研究部門	准教授	初沢 清隆	基盤研究(C)一般	19570183	SNARE タンパク質によるファゴサイトーシスと抗原提示反応の制御機構の解明	1,700	0	0	0	
細胞科学研究部門	助 教	東 恒仁	若手研究(B)	20760541	細胞の品質管理機構に着目したバイオ医薬品の生産性向上に関する研究	1,700	1,600	0	0	

